

1. 背景とねらい

近年、生食用西洋なしの需要が高まっており、ラ・フランスやル・レクチェなどの品種が県内で増・新殖の傾向にある。

新しく西洋なしを栽培する場合、品種間の受粉親和性が問題となる。そこで、ラ・フランス、ル・レクチェ、シルバーベルについての相互の受粉親和性を昭和60年度に参考事項として報告した。今回はプレミッシュビューティー、グランドチャンピオン等の品種および一部の日本なしとの受粉親和性を検討したので、参考に供する。

2. 技術の内容

1) パートレットとマックスレッドパートレットとの間の受粉親和性は低く、受粉樹には不適である。また、ル・レクチェに対してプレミッシュビューティと新水、およびプレミッシュビューティーに対してル・レクチェの親和性はやや劣る。表1に示す他の品種間ではいずれも受粉樹として使用できる。

2) 単為結果は、ラ・フランス、シルバーベルの他にプレミッシュビューティー、グランドチャンピオン、パートレットで認められるが、その率は低い。

3) グランドチャンピオンは自家受粉による結実率は高いが、果重が小さくなるので受粉樹を用いる。

4) 適用地域 県下全域

3. 指導上の留意点

1) 各品種間の開花期に時期的な問題はないが、訪花昆虫利用等結実確保に務める。

4. 参考文献、資料

1) 果樹全書 ナシ（農文協編）

2) 果樹園芸総論 養賢堂

3) 昭和60～61年度寒冷地果樹試験研究成績概要集（栽培） 農水省果樹試験場編

5. 試験成績

表1 西洋なし交配組み合わせと受粉親和性

母品種	交配品種	着果率 (%)	一果重 (g)	平均種子数	母品種	交配品種	着果率 (%)	一果重 (g)	平均種子数
ラ・フランス	L.L.	96.3	202	9.0	シルバーベル	L.F.	46.0	417	6.6
	S.B.	93.1	217	8.3		L.F.	73.5	267	7.3
	F.B.	92.9	199	8.5		L.L.	50.0	425	8.0
	G.C.	73.1	251	8.6		L.L.	87.1	256	7.5
	B.	81.8	209	9.3		F.B.	52.9	473	7.2
	M.R.B.	89.3	183	8.6		G.C.	52.8	456	8.1
	新水	92.9	198	8.5		B.	54.5	461	7.3
	幸水	92.3	240	8.8		M.R.B.	50.0	417	7.0
	豊水	84.6	227	8.7		徐雄無受粉	33.9	379	0.8
	徐雄無受粉	92.2	180	9.0		徐雄無受粉	74.2	140	0.0

	自家受粉	33.8	176	0.0		自家受粉	19.2	359	0.0	
						自家受粉	70.6	108	0.0	
ル・ルクチェ	L.F.	53.7	252	5.9	フレミッシュ ビュウティ-	L.F.	44.4	423	8.1	
	S.B.	40.0	215	2.0		L.L.	12.5	414	3.0	
	F.B.	15.0	290	7.0		G.C.	35.7	420	6.8	
	G.C.	50.0	235	6.0		徐雄無受粉	14.3	345	0.0	
	B.	30.8	223	6.0		自家受粉	0.0	-	-	
	M.R.B.	27.3	222	8.2						
	新水	10.0	390	9.0		ケラント	L.F.	91.2	251	6.1
	幸水	33.3	263	4.7		チャンピオン	L.L.	96.9	244	6.5
	豊水	26.9	243	4.0		F.B.	96.9	226	5.5	
	徐雄無受粉	0.0	-	-		B.	85.3	201	4.6	
自家受粉	0.0	-	-	M.R.B.	94.1	231	5.4			
				徐雄無受粉	21.9	158	0.0			
ハートレット	L.F.	47.7	220	9.0	自家受粉	73.5	177	2.8		
	L.L.	29.2	165	7.9						
	F.B.	34.0	218	8.6	マックス	L.F.	66.7	268	9.1	
	M.R.B.	2.6	148	1.0	レット	L.L.	60.5	232	7.3	
	徐雄無受粉	2.5	156	0.0	ハートレット	F.B.	68.4	257	8.1	
	自家受粉	11.6	173	1.0	B.	2.6	-	-		
				徐雄無受粉	0.0	-	-			
				自家受粉	5.9	197	2.0			

- 注 1) L.F.: ラ・フランス、 L.L.: レ・ルクチェ、 F.B.: フレミッシュビュー
ティ-、 G.C.: グランドチャンピオン、 B.: ハートレット、 M.R.B.:
マックスレットハートレット
- 2) 1花そう2花に摘らいした後、徐雄し受粉を行なった。
- 3) *印は60年度実施